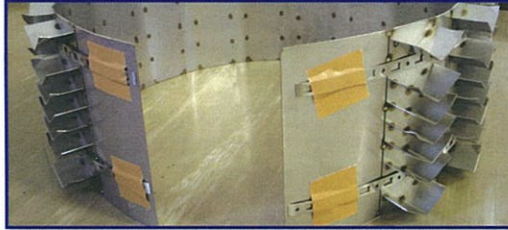


# エコ・ステンフィン® 取付説明書

## はじめに準備して頂きたいもの

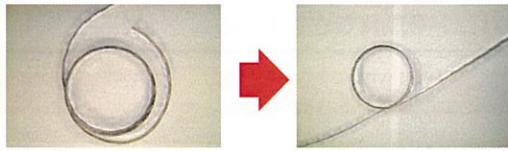
- 作業用手袋 ○ガムテープ
- インパクトドライバーと  
ボックス13ミリと10ミリと8ミリ
- プラスドライバー ○マイナスドライバー



1

※取付の際は、必ず手袋をはめて下さい。  
手を傷つける恐れがあります。

フィンの隙間が大きく開いている上下2点  
隙間部分にバンドを回し、ガムテープで  
仮留めをしておく。

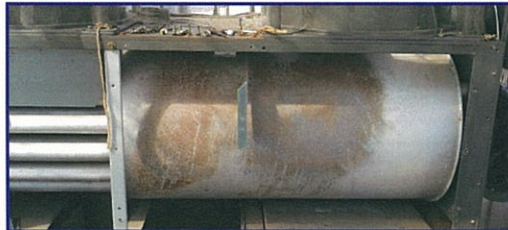


※図1

※図2

## 取付ワンポイント 😊

図①の通常状態バンドを仮留めの前に、  
図②のバンドのように、端部分を平面に伸ばす事により、  
バンドに返しが付き、フィン巻きつけ時にバンドの  
巻き戻りの心配が無くなり、作業性の向上に繋がります。



2

ボイラーの外枠、内枠を外す。

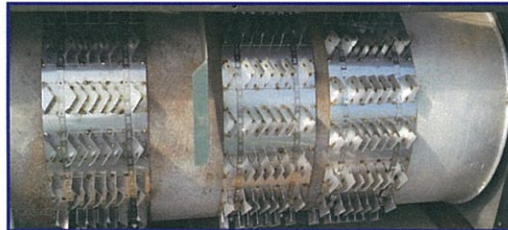
※プラスドライバーまたは、  
インパクトドライバー(ボックスレンチ13ミリ  
または10ミリ)を使用

※型式によっては両面外す必要があります。



3

缶体に沿わせるように回しながら入れ込み、  
巻きつけます。取付金具を締め易いよう、  
手前側までフィンを回します。



4

羽の向きは風の流れを妨げないように、  
「く」の字の開いた方を吹き出し口  
向くように取り付けます。

※写真は向かって左吹き出しの場合です。

※また、羽の位置が隣と互い違いになるよう取り付けます。

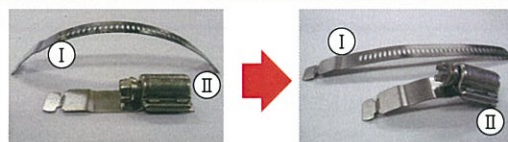


5

ガムテープを外し、  
金具を取り付け、仮留めします。

次の工程でエコステンフィンを回転させるため、  
締め過ぎず、動く余地を残してください。

※マイナスドライバーまたは、  
インパクトドライバー(ボックスレンチ8ミリ)  
を使用します。



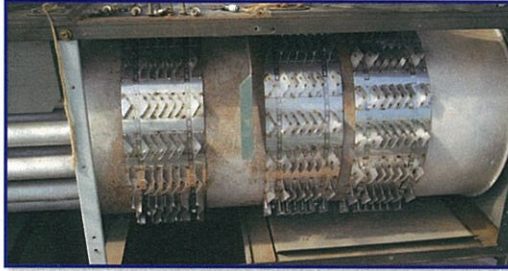
※図1

※図2

## 取付ワンポイント 😊

留め金具は通常、図①の状態ですが、図②のように曲げて頂くと  
作業性が向上致します。Iの金具は平らになるように伸ばして頂き、  
IIの金具はボックスレンチの先端が入り易くする為に、締め付け  
金具部分を反らせて頂くと作業をし易くなります。

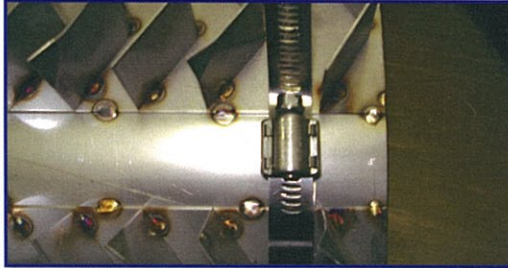
# エコ・ステンフィン® 取付説明書



6

## フィンの位置を合わせる。

缶体の焼けている箇所、色が変わっている箇所があれば、そこに合わせる。無ければ、缶体の中心部に合わせる。



7

## バンドを本締めする。

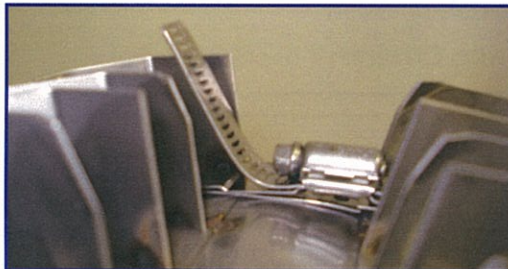
このとき、金具接続部(下記拡大写真参考)を缶体に直接触れる箇所、またフィンの1重部分には締めず、フィンが2重になっている羽の部分で締めるようにする。

※熱による劣化を抑え、よりバンドを長持ちさせるため。



## 取付ワンポイント

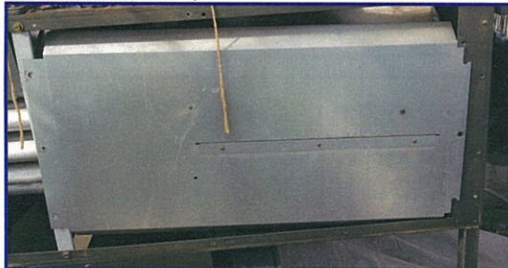
※矢印部分である接続部は熱と重力による負荷が最もかかるので、必ず羽のある2重構造部にて締め付けてください



8

## バンドの金具を曲げる

※バンド緩み防止、熱による劣化対策



9

## 内枠、外枠をはめて完成

## 備考

※適切枚数、適切な取付方法により、フィンの効果が最大限に発揮されます。しばらく使用すると、フィンがキツネ色に変色しますが、これは蓄熱効果によるものですので、製品に問題はございません。

※バンドは熱膨張により劣化します。2～3年に1度取り替えることをお勧め致します。

バンドを取り替えることによって効果は最大限に引き出されます。

長く使用し続けると切れる恐れもありますので、お早めにお取替え下さい。